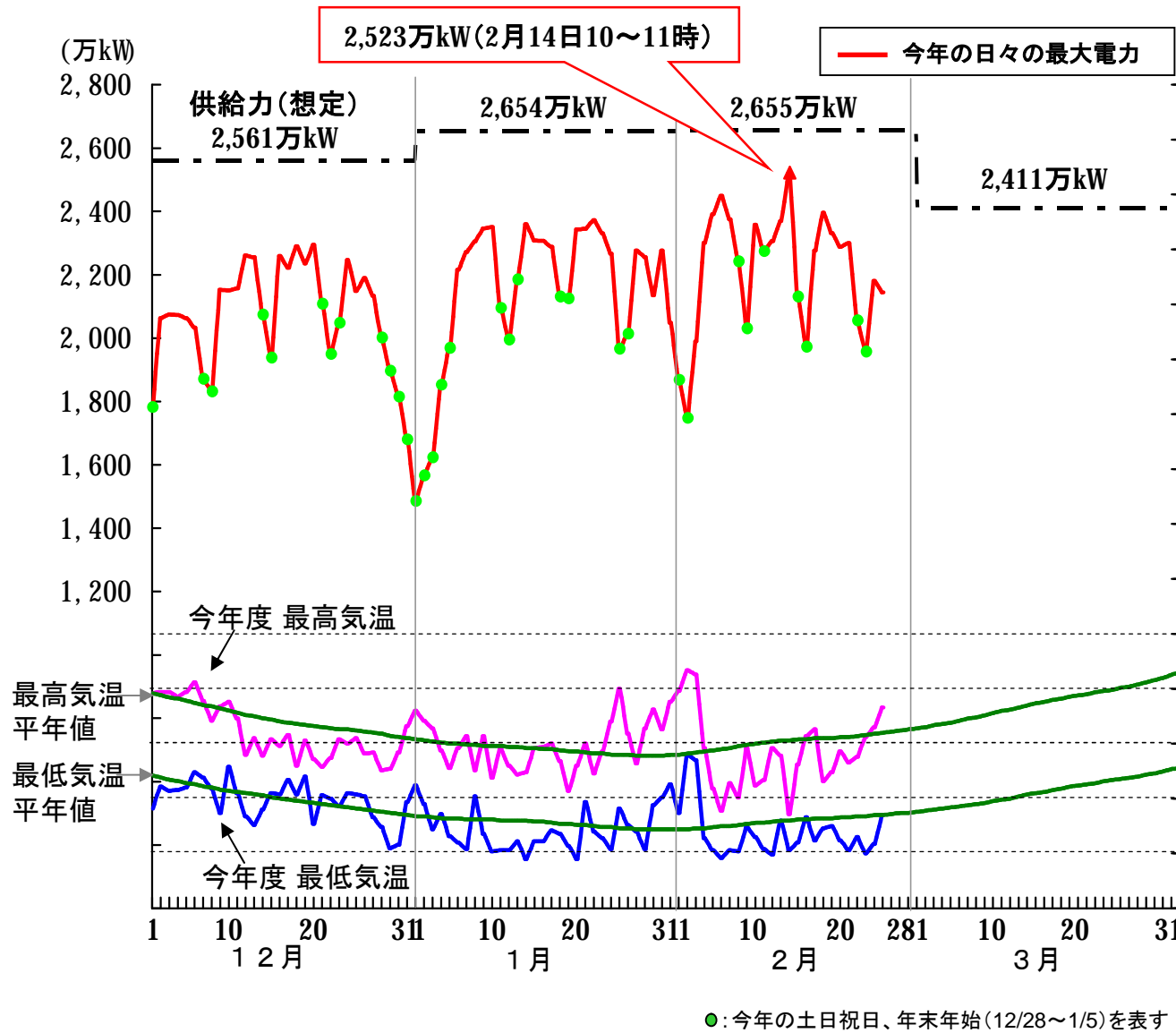


今冬の最大電力および気温の推移

関西広域連合委員会
エネルギー検討会ご提出資料
関西電力株式会社
平成26年3月1日



◎気温※¹(大阪) (°C)

H25年12月		平年差
平均	7.8	▲0.8
最高	11.0	▲1.3
最低	4.8	▲0.3

H26年1月		平年差
平均	5.9	▲0.1
最高	9.8	+0.3
最低	2.2	▲0.6

H26年2月上旬※ ²		平年差
平均	5.7	0.0
最高	9.5	+0.2
最低	2.7	+0.3

H26年2月中旬※ ³		平年差
平均	4.3	▲2.2
最高	8.2	▲2.2
最低	1.5	▲1.6

H26年2月下旬※ ⁴		平年差
平均	5.6	▲1.3
最高	10.5	▲0.3
最低	1.2	▲2.2

◎冬日(最低気温0°C未満) (日)

12月	1月	2月上旬※ ²	2月中旬※ ³	2月下旬※ ⁴	計
0	2	1	1	0	4

※¹: 気温は全て期間の平均値

※²: 上旬は1日~10日の値

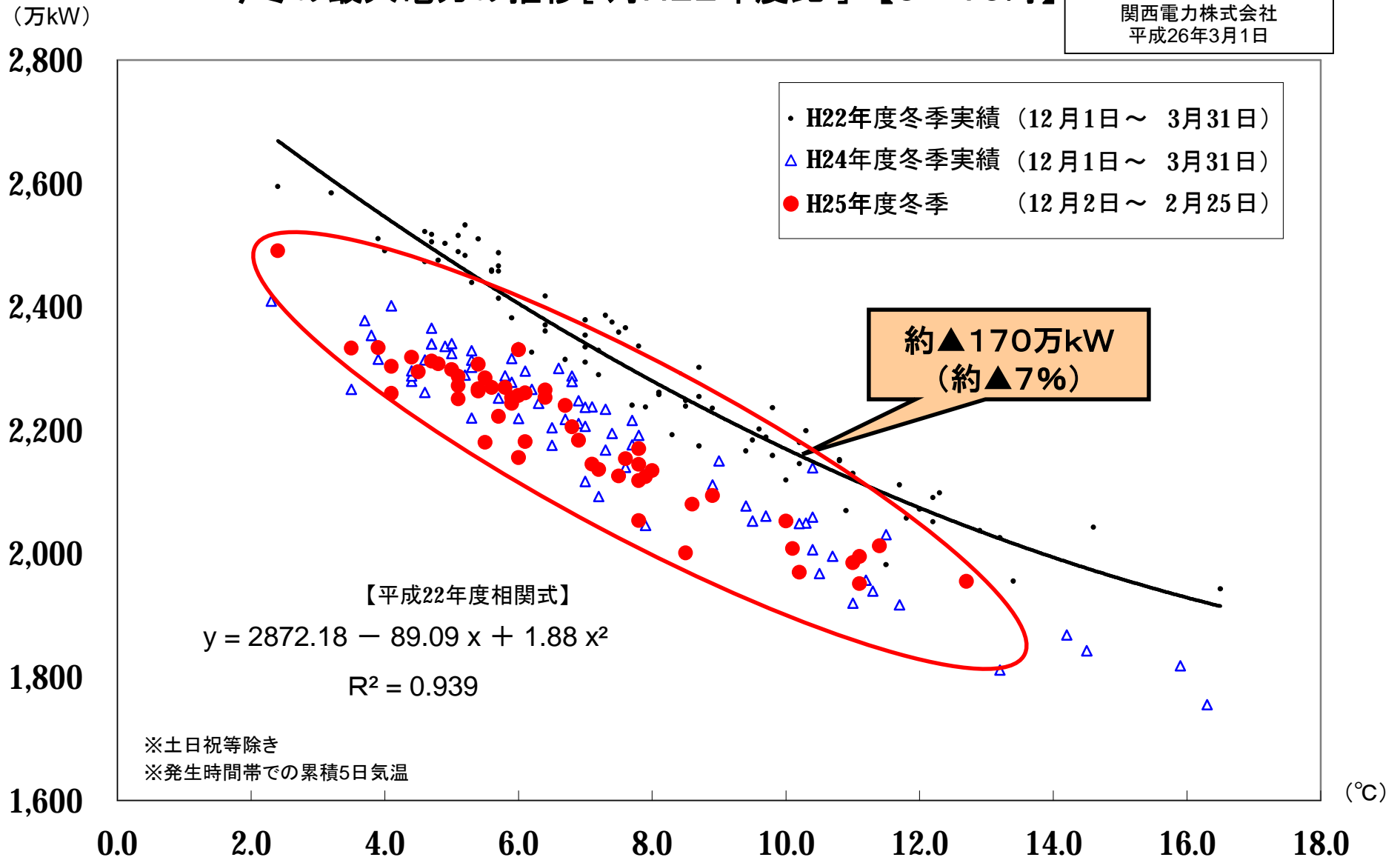
※³: 中旬は11日~20日の値

※⁴: 下旬は21日~25日の値

○今冬のこれまでの最大電力発生日は2月14日(金)10~11時の2,523万kWです。

今冬の最大電力の推移[対H22年度比] 【9～10時】

関西広域連合委員会
エネルギー検討会ご提出資料
関西電力株式会社
平成26年3月1日



○12/2から2/25までの実績では、H22年度と比べて、平均で約170万kW(約7%)減少しています。この中に節電効果が含まれているものと考えられます。

今冬の最大電力の推移[対H22年度比] 【18~19時】

(万kW)
2,800

2,600

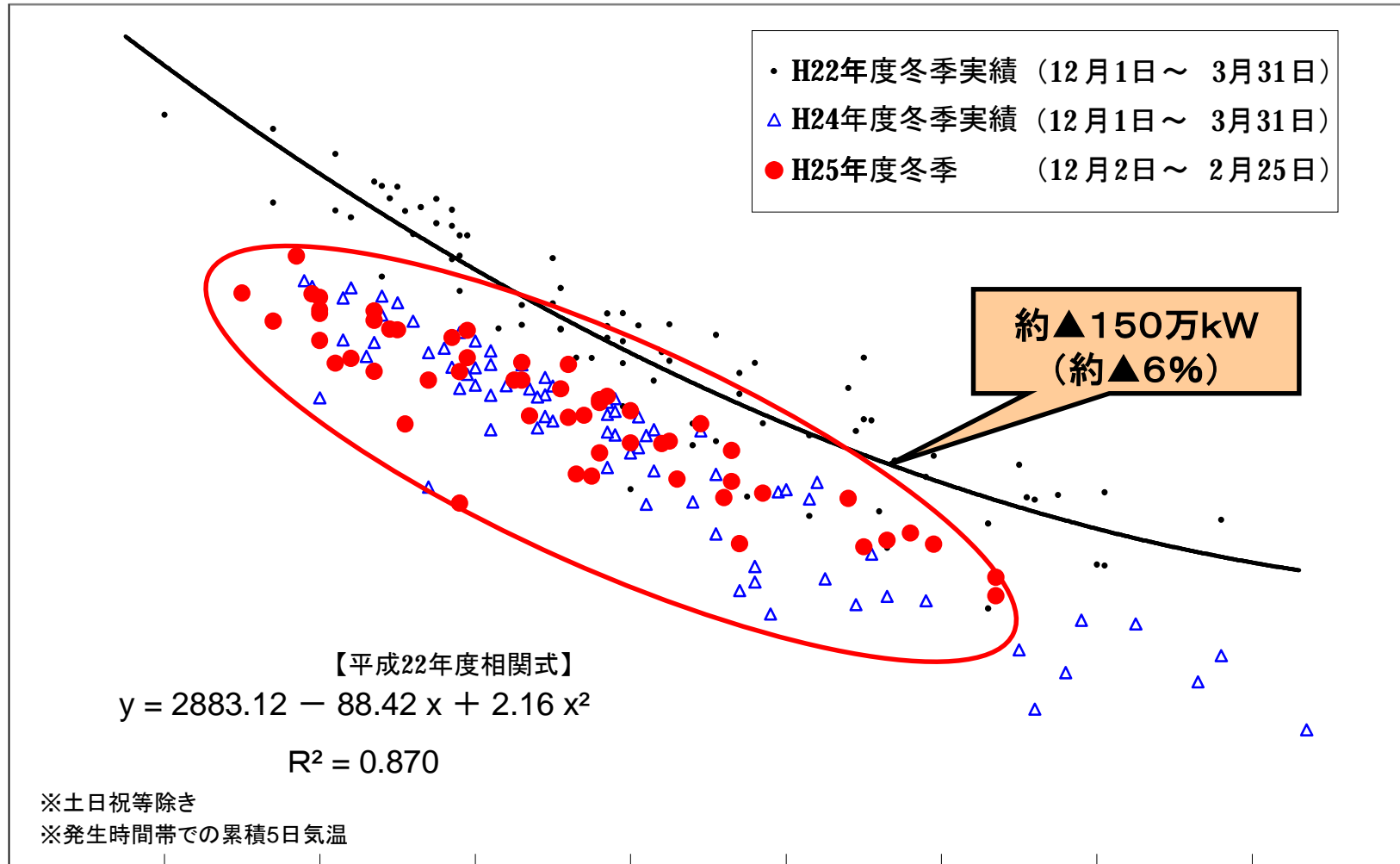
2,400

2,200

2,000

1,800

1,600



(°C)

0.0

2.0

4.0

6.0

8.0

10.0

12.0

14.0

16.0

18.0

○12/2から2/25までの実績では、H22年度と比べて、平均で約150万kW(約6%)減少しています。この中に節電効果が含まれているものと考えられます。

平成24年冬と今冬の節電の比較〔対H22年比〕

関西広域連合委員会
エネルギー検討会ご提出資料
関西電力株式会社
平成26年3月1日

		H25年度 冬(今冬) [算定期間:12/2~2/25]		H24年度 冬 [算定期間:12/1~3/31]	
		減少量 上段:9時~10時 下段:18時~19時	減少率 上段:9時~10時 下段:18時~19時	減少量 上段:9時~10時 下段:18時~19時	減少率 上段:9時~10時 下段:18時~19時
		節電効果(全体)		約170万kW	約 7 %
約150万kW	約 6 %			約150万kW	約 6 %
(内訳)	家庭用	約 35万kW	約 6 %	約 30万kW	約 5 %
		約 40万kW	約 5 %	約 40万kW	約 5 %
	業務用	約 60万kW	約 7 %	約 50万kW	約 6 %
		約 65万kW	約 8 %	約 50万kW	約 6 %
	産業用	約 75万kW	約 8 %	約 70万kW	約 8 %
		約 45万kW	約 6 %	約 60万kW	約 8 %